

情報セキュリティ教育・啓発活動

情報セキュリティマインドの醸成に向けた教育・啓発活動

情報セキュリティの継続的な実践のためには、役員・社員・協働者一人ひとりが情報を扱うプロフェッショナルとしての自覚が必要です。NTTデータでは、継続的な情報セキュリティ教育・啓発を通じ、ルールや行動の理解と、実践に必要な情報セキュリティマインドの醸成を実施し、プロフェッショナルの育成に努めています。

また、NTTデータグループ全体のセキュリティレベルを一定以上に保つため、グループ会社が自社内でNTTデータグループセキュリティポリシー(GSP)に基づいた情報セキュリティや個人情報保護に関する教育を実施できるよう、必要なツールを提供し、NTTデータグループ全体のセキュリティに対する意識向上を図っています。

e-ラーニング拡大のための多言語化

世界中にいるNTTデータグループの社員が、必要なセキュリティ知識を習得し、実際に行動できることを目的として、2014年、情報セキュリティ教育の多言語化に取り組みました。

情報セキュリティ教育はe-ラーニング形式で6言語(日本語、英語、中国語、ドイツ語、イタリア語、ポル

トガル語)9パターンを用意。すでにグループ会社社員4万人以上が実施しています。教育教材は、地域統括会社等の情報セキュリティ担当役員やセキュリティ推進者と協力して、内容のブラッシュアップと適正な翻訳を実行しています。また実施後も、結果については会社単位に分析し、弱点の強化を図っています。

海外グループ会社における教育活動の拡大

海外グループ会社においてもセキュリティの教育・啓発を積極的に進めており、GSPの浸透並びにセキュリティ研修を、すべての会社を対象に実施しています。

2015年度の海外グループ会社における主な取り組みとしては、APACおよび中国においてNTTDATA-CERTによるインシデントワークショップを開催しました。ワークショップ終了後にはテストを実施し、理解浸透を測りました。



中国で実施したワークショップの様子

2014・2015年度の情報セキュリティ教育実績

対象者	実施形態	内容・狙い	
全社員 (必須)	情報セキュリティ・ 個人情報保護IBT (Webインターフェース)	情報セキュリティポリシーの理解度向上／情報セキュリティ事故発生時の基本動作の理解／ノートPCや小型可搬媒体の適切な取り扱い／個人情報に関する考え方／個人情報の取り扱い方法／社内規程の内容理解／個人情報に対する意識向上 ※2014年度、2015年度の実績：社員100%	
全社員 (任意)	情報セキュリティワークショップ	個別要望に応じた情報セキュリティ・個人情報に関するテーマのワークショップ ※2014年度、2015年度：各1回	
各階層	情報セキュリティ講話 (座学教育)	新入社員、3年目社員、新任課長代理・課長・部長といった各階層別に、必要な知識、役割、責任、心構え、必須事項などについて説明 情報セキュリティ理解の向上と実践のための知識習得	
協働者 (必須)	情報セキュリティポリシー 教育支援	個人情報保護に関する考え方、NTTデータにおける情報セキュリティルールについて、NTTデータで働くパートナーとして知っておくべき内容を教育 社内システム利用時は受講が必須で、かつ定期的な受講が必要 ※マルチリンガル対応(英語・中国語・日本語)	
協働者 (新規契約時)	情報セキュリティ 教育ハンドブック	新規のNTTデータグループの協働者に対して、NTTデータと働く上で知っておいてほしい情報セキュリティや個人情報の取り扱いについて説明 ハンドブックを契約締結時に配布 ※マルチリンガル対応(英語・中国語・日本語)	
グループ会社 社員・協働者	GSPセキュリティ教育IBT (Webインターフェース)	NTTデータグループセキュリティポリシー(GSP)の理解向上と正しいセキュリティ行動のための知識確認 ※マルチリンガル対応(英語・中国語・日本語) ※2014年度実績：124社 37,044人	※2015年度実績： 94社 31,770人
	個人情報保護IBT (Webインターフェース)	NTTデータグループで働く上で知っておくべき、個人情報保護に関する考え方や個人情報の取り扱いについての理解向上と知識確認 ※マルチリンガル対応(英語・中国語・日本語) ※2014年度実績：65社 23,962人	
内部監査人	GSP内部監査人研修 (オフライン研修)	情報セキュリティ監査を行うための教育 模擬監査演習も実施 ※自席オフライン研修はマルチリンガル対応(英語・中国語・日本語) ※2014年度実績：89社 399人、2015年度実績：86社 431人	